

宇都宮大学 「君が未来を切り拓く！ ～ 宇大の科学人材育成プログラム ～」

●育成したい人材像

・山中伸弥教授（京都大）やスティーヴ・ジョブズ氏（アップル）をモデルとして、将来グローバルなパラダイムシフトやイノベーションを起こす傑出した科学技術人材（研究者、教育者、起業家、技術者、クリエイターなどを含む）。

●背景（問題意識）

・仮説1： 経験した基礎的な課題から、次の課題を自ら意図的に発想し、実行しようとするかどうか、すなわちデザイン力（問題発見・解決力）が第二段階でのパフォーマンスの鍵になっている。
 ・仮説2： GRITや文章力の高い受講生は、自身の未来や課題を考察する方法の構造化に優れており、それがコーチによる伴走支援によって強化されている。

●企画の主な特徴

デザイン力の強化を中心とした、
イノベーション創出人材育成のための教育プログラム

・上記人材に共通し、成果に直結する能力をデザイン力、セルフコーチング力、グローバル共創力と捉える。
 ・コーチングによる「個」に応じた支援や、「熟達化研究」などの学習科学の研究知見を応用して、これらの力を向上させる。
 ・特に、問題解決法の構造化を促すことにより、自らビジョンを発想し、実行していく人材の育成を目指す。

●企画の主体組織

宇都宮大学（全学）

●連携機関

栃木県教育委員会、栃木県私立中学高等学校連合会、栃木県高等学校長会、栃木県高等学校教育研究会理科学部会

●企画の最終目標

将来グローバルなパラダイムシフトやイノベーションを起こす傑出した科学技術人材の育成プログラムおよび評価基準を確立する。

